

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

第15回矢田川一斉クリーン作戦

令和三年
十月二十五日

天気晴れ

コロナ禍の中で

クリオンエコヘーハー
浜田スポーツ市土不課
環境課の参加で
四十八名の参加者、ゴミ
袋三十一袋、無事終了
致しました。
参加の皆様にはこの数し
い現状の中、ボランティア活
動として積極的に参加さ
れたこと、深く感謝いたして
おります。



2020/10/25



2020/10/25

地震がいつの地質時代のも
のかを裏付けるのが示準化
石で、当時の環境をうかが
わせるのが示相化石である。
三葉虫の化石が出土は
古生代造礁サンゴの遺
暖で浅い海ということだ。
ではいまの時代を未来に
伝えるものは何だろう。
プラスチックが人間が生きた
時代の化石に代わっている。
微小なプラスチックの粒は
すでに世界中の海に堆積し
ている。何億年か先、プラ
スチックが化石として出土し
この地層は、人間が出現する
人種が繁栄していたころの
ものだと、いつかことになる



2020/10/25

有害な廃棄物の輸出を
規制するパリ条約の締
約国会議が開かれ、締
約国は使用済みのペットボトルや
プラスチック容器などの廃カ
ラスチックが含まれること

な
何と日本は入
当たりの使込捨
てがプラスチックの
量が世界で二番目
に多い。



2020/10/25



2020/10/25

今後は国内でのリサイクル
などで対応していくしかない。
プラスチックが突然、なくな
るという未来の地球の住人
が首をかしげるような人
な取組を期待
したい。



2020/10/25